

札幌皮膚病理研究所ニュース

2006年1月号



2005年、皆様にはお世話になりました。2006年もなにとぞよろしくお願い申し上げます。

12月は3つのセミナーが開催されました。



12/9-12/11 第13回札幌皮膚病理セミナー（札幌）
最終日、Gottlieb先生と。

☆セミナーで使用されたスライドなどを、近日ホームページに掲載します。



12/17 皮膚外科手術のための
皮膚腫瘍病理学講座（大阪）
データCDと分厚い資料です。

大阪市立大学の皆様、
ご協力に心よりお礼申し上げます。
ありがとうございました。



12/18 炎症性皮膚疾患の病理診断（大阪）
休憩時間にも質問がたくさん出ました。



金先生 研修
12/9から12/29まで
雪の札幌で
研修されました。
真中が金先生。
韓国から来日され
た、研究所初の
外国人研修生です。

今後のスケジュール



● 2005.12.30-2006.1.3
お正月休み

● 2006.1.14
近畿大学医学部奈良病院皮膚科勉強会
会場： 近畿大学医学部奈良病院
講演： 『Melanocytic nevus：色素細胞性母斑の
臨床と病理 -Melanocytic nevus：色素
細胞性母斑（先天性および後天性）の病理
組織像の特徴を整理し、臨床像と対比しな
がら解説する-』
講師： 木村鉄宣

● 2006.2.19
第31回札幌市医師会医学会
会場： 札幌市医師会館
ポスター展示： 『臨床診断が粉瘤（アテローマ）で、病
理診断が別疾患であった症例の検討』
演者： 木村鉄宣

● 2006.3.1-3.2
9th Joint meeting of the International
Society of Dermatopathology
於： サンフランシスコ

● 2006.3.3-3.7
64th American Academ of Dermatology
Annual meeting
於： サンフランシスコ

サンフランシスコでの学会に
一緒に参加しませんか？
お問い合わせは当研究所まで！

今月の症例

72才男性 生検部位: 背部

臨床診断: Hidracanthoma simplex, Bowen's disease, BCC, M.M.

病理組織診断: **Melanoacanthoma**



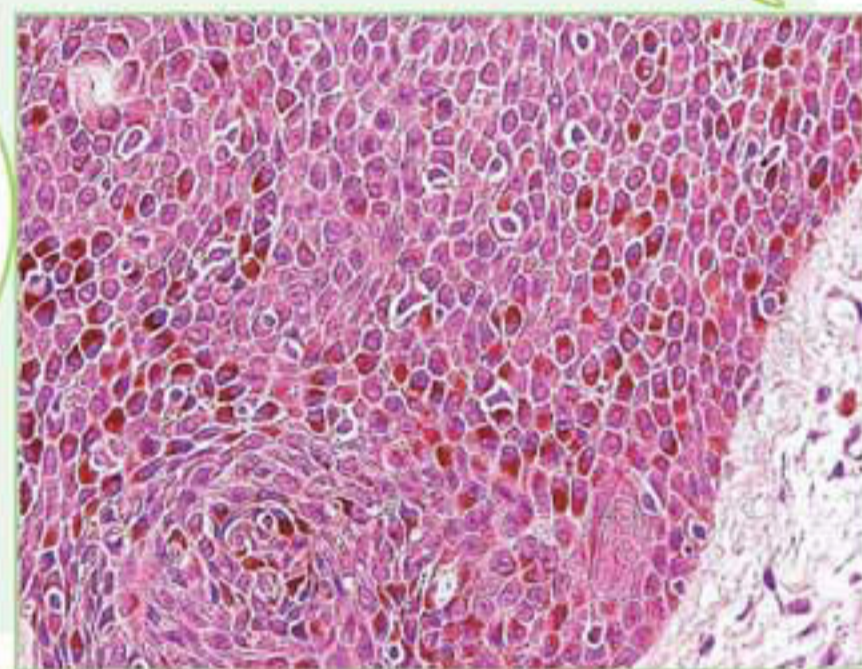
注: melanoacanthoma は seborrheic keratosis の亜型で、メラノサイトの増加が著明なものをいう。

表皮の肥厚により隆起性病変が形成されている。
真皮上層には炎症性細胞浸潤がある。

メラノサイトの増加とメラニン顆粒の沈着が著明。



基底細胞に類似した細胞が増殖し、pseudohorn cyst の形成もある。
またメラニン沈着も伴っている。



セミナーのご案内

皮膚病理講座 基礎編

開催日 2006年5月13日(土)、14日(日)
会場 東京、興和ホール
参加費 32,000円
講師 木村鉄宣、安齋眞一

皮膚科・病理の専門医試験の受験者を対象としています。

「あたらしい皮膚科学(中山書店 清水宏著)」を参考書とし、重要疾患の皮膚病理像をわかりやすく解説します。

皮膚病理診断学入門

開催日 2006年9月2日(土)、3日(日)
開催地 東京
参加費 32,000円
講師 木村鉄宣、安齋眞一

第14回札幌皮膚病理セミナー

開催日 2006年12月1日(金)[特別講演]
2日(土)、3日(日)[セミナー]
会場 北海道大学臨床大講堂
参加費 32,000円
講師: Hideko Kamino, M.D.,
(NYU Medical Center, USA.)

日程調節中のセミナー

Melanocytic lesions 色素細胞性病変:
三位一体セミナー(東京)
—臨床像、ダーモスコピー像、そして
皮膚病理組織像を比較検討する—

新着情報はホームページ (www.sapporo-dermpath.com) にて随時紹介されます。

札幌皮膚病理研究所

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842
e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: <http://www.sapporo-dermpath.com>

編集担当: 佐藤 尚子